

NPO 京都コミュニティ放送

第67回番組審議会

開催日時：2012年7月20日（金） 15:30～17:00

会場：中京区烏丸三条上る 烏丸ビル2階 Flag 三条

審議委員総数：9 出席 3人 欠席 6人

出席委員：市古和弘 井上泰宏 山本時子

欠席委員：中村 正 野池雅人 福井秀彦 ジェフ・バーグランド 丸橋泰子 津田正夫

局側委員：隅井孝雄 時岡浩二 町田寿二

(順不同敬称略)

ゲスト：板東冴香さん

審議番組：

「パラレルワープレディオ」 毎月第2月曜日 19:00-19:15 放送

最初に7月9日放送の同番組を試聴した後、審議に入る。

ゲスト（板東冴香さん）からの番組紹介：

大学で放送（アナウンス）について勉強している。ラジオ番組を始めたきっかけはバイト先の友人からラジオカフェのことを聞き、番組を始めることにした。

審議委員からのコメント：

「番組構成がよく出来ていて、世間で名が知れたパーソナリティーの番組のように思えた。」

「オーストラリアへの留学についてのトークは、情景を見ているようで、良く説明されていた。」

「番組名のパラレルワープという名前らしく、話題も様々なところに飛んでいる。」

「声は大変聴きやすいが、もう少しゆっくり話したほうが良いと思う。」

「初めて聴いたひとには、パラレルワープというタイトルの意味が、分からないので、冒頭に毎回決まった説明を入れるといいのではないか。」

「構成や曲のかけかたなど、良く考えられている。番組開始当初よりずいぶん聞きやすくなっている。」

「大学で放送を学んでいるが、テレビの番組がメインで、ラジオの勉強ができない」（坂東）

「大学でラジオの収録風景を見てもらうと注目されるし、理解されると思う。」

「トークの中にいまどきの若者の話し言葉が出てくるが、人によって色々な取り方をされるのでプロとして放送業界を目指そうと思っているのなら、正しい日本語をちゃんと勉強したほうが良い。」

「不特定多数から反応をもらうのは容易ではないので、大学や友達から広げて行くと思う。」

「ジオカフェでは最年少パーソナリティーとなるので、これからも良い番組を制作して欲しい。」

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は8月1日から事務所に据置き閲覧できるようにした。

また、8月20日（月）13:15から「番組審議会だより」として放送した。